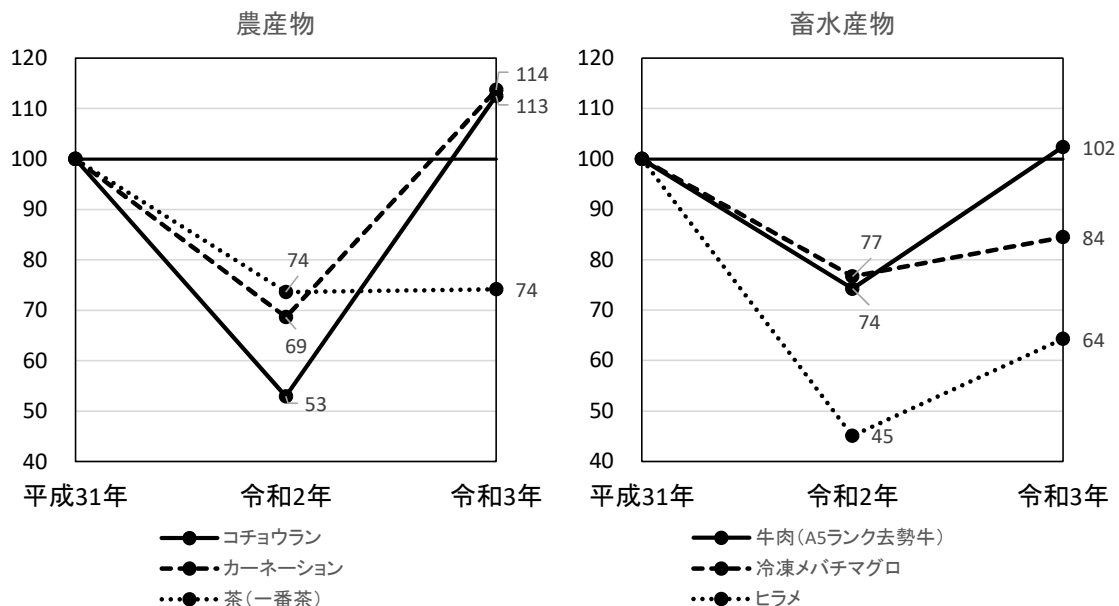


新型コロナウイルス感染症による県内農林水産業への影響

1 県内の農林水産業への主な影響

- ・農作物全般では、外出需要が減少した一方で、家庭での消費が増加したため、影響は限定的であったが、イベントの中止等により花きや茶が、外出自粛等によりイチゴの観光農園などが影響を受けた。
- ・畜産物や水産物については、等級の高い牛肉、また、マグロやヒラメ、マダイなどの高級魚についてはインバウンド需要や外出需要の減少などにより令和2年3月から市場価格が大幅に下落したが、現在は一部を除き持ち直しつつある。
- ・林産物には大きな影響は出ていない。



主な農畜水産物の市場価格の推移

※平成31年から令和3年の各年4月の市場価格について、平成31年を100とした場合の比較

※市場価格は各主要市場の価格、茶は(株)農協茶業センターの生産者価格

2 県内の農林水産業への支援

- ・令和2年度は、牛肉や高級魚等の需要喚起のため、国庫事業を活用して学校給食への提供を行ったほか、国や県の補助金や給付金などの周知や活用支援、また、普及指導活動における技術的な相談対応を行った。
- ・令和3年度も国や県の制度の周知や活用支援を行うとともに、普及指導活動における相談対応を継続している。

3 作物別の影響等（令和3年11月1日時点）

区分	影響等	市場価格の状況
1 農業関係		
(1) 花き	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】3月～5月は、イベントの中止等により、5月ごろまで花き全体で需要の減少や価格低迷が生じたが、以降年内は概ね回復傾向となった。 ・【令和3年1月～3月】再び各種イベントやブライダルが中止もしくは延期となり、カーネーションやスイートピーなどの切花の市場価格が下落した。 ・【現時点】花きについては、需要が安定しており、価格は回復している。 ・コショウランは、令和元年10月と比べ、出荷量が1割ほど増加し、市場価格も良好に推移している。 ・カーネーションについても、価格は回復している。 	<p>[R2年4月] コショウラン R1比△47.1%</p> <p>[R3年1/7~2/15] カーネーション R2比△14.3% スイートピー R2比△31.1%</p> <p>[R3年10月] コショウラン R1比+16.3% カーネーション R1比+2.0%</p>
(2) 野菜	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】家庭での消費拡大により、市場出荷、直売所での販売は好調であった。 ・3～5月に、イチゴの観光農園の多くは営業を自粛し、市場出荷や直売に切り替えたが、売上は減少した。 ・【令和3年1月～現時点】イチゴの観光農園では、外出自粛や海外からの観光客減少の影響により、地域や農園によっては来客者数が減少し 	<p>[R2年4月] キャベツ R1比+42.0%</p>

区 分	影 響 等	市場価格 の状況
	ており、市場出荷や直売に切り替えたが、売上は減少している。	
(3) 果樹	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年～現時点】ミカンなどについては市場価格に影響は無かった。 ・ナシ・ブドウ・カキなどの落葉果樹は直売中心で販売しており、影響は無かった。 	
(4) 茶	<ul style="list-style-type: none"> ・【現時点】葬儀の返礼需要等の減少により、一番茶の生産者価格は、平成31年と比べ、下落している。 	[R3年5月] R1比△26% (R2比+0.7%)
2 畜産関係		
(1) 牛肉	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】インバウンド需要や外食需要の減少等により、3月以降、等級の高い牛肉を中心に価格が低迷していたが、5月以降持ち直し、12月には令和元年と同水準まで回復した。 ・【令和3年1月～2月】牛肉の価格については、1月から2月にかけて、令和2年(2,716円)並みで推移している。 ・【令和3年2月～3月】牛肉については、2月から3月にかけて、令和元年(2,800円)並みで推移している。 ・【令和3年4月～現時点】牛肉については、飲食店向けの需要低迷やスーパーでの販売が鈍化していたため、在庫が増えている状況にあり、令和元年(2,745円)をやや下回る程度の価格となっている。 	牛肉 (A-5 去) [R2年4月] R1比△25.8% [R2年12月] R1比+5.1% [R3年1月] R2比△0.9% 2,693円 [R3年3月] R1比+0.4% 2,811円 [R3年5月] R1比△1.9% 2,683円 [R3年9月] R1比△2.3% 2,683円

区 分	影 響 等	市場価格 の状況
(2) 牛乳	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】3月～5月の休校期間中、学校給食向け牛乳は市販に振り向けられ、生産者には影響がなかった。 ・【令和3年1月～現時点】9月に一部の小学校において夏休みの延長、短縮授業、分散登校が行われ、給食の再開が遅れたところがあったが、再開が遅れた学校給食向け牛乳は市販に振り向けられ、生産者には影響がなかった。 	
(3) 豚肉	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】豚肉は家庭での消費拡大等により堅調であった。 ・【令和3年1月～6月】豚肉は引き続き家庭での消費拡大等により堅調である。 ・【令和3年7月～現時点】豚肉は、昨年同時期と比較して若干低めだが、堅調に推移している。今後の見通しとしては、11月の出荷予測頭数（1,447千頭、前年同期比－0.4%）及び生産量予測（80.2t、前年同期比＋1.0%）は前年並みであり、堅調に推移すると思われる。 	<p>豚肉（上）</p> <p>[R2年4月] R1比＋13.6%</p> <p>[R3年1月] R2比＋9.7%</p> <p>[R3年6月] R2比△0.6%</p> <p>[R3年10月] R2比△3.4%</p>
(4) 鶏卵	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和2年】鶏卵は、夏以降、業務・加工用需要の落ち込みにより価格が低水準で推移したが、鶏卵生産者経営安定対策事業による補てんがあり、影響は緩和された。 	<p>鶏卵（M）</p> <p>[R2.4月] R1比＋16.1%</p> <p>[R2年11月] R1比△21.9%</p>

区 分	影 響 等	市場価格 の状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・【令和3年1月～3月】業務用向け出荷の落ち込みにより去年同期比16.5%減であるが、国内史上最大規模の発生となった高病原性鳥インフルエンザの影響などで高水準で推移している。 ・【令和3年4月～6月】高病原性鳥インフルエンザの発生は落ち着いているが、5月の鶏卵価格（258円）は過去10年の平均値（190.5円）と比較して高水準で推移している。 ・【令和3年7月～現時点】鶏卵価格は7～9月と昨年同時期と比較して高水準で推移していたが、10月には令和元年並みとなった。 	<p>[R3年1月] R2比△16.5%</p> <p>[R3年3月] R2比+11.7%</p> <p>[R3年5月] R2比+53.6% 過去10年平均比較 +44.6%</p> <p>[R3年10月] R2比+29.9% R1比+ 4.4%</p>